



下津井中学校 HP
二次元コード

はばたき

校訓 自主・勤労・責任

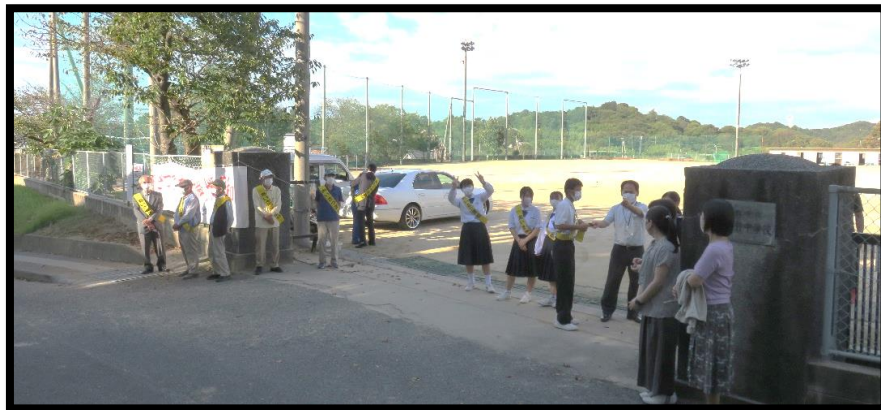
倉敷市立下津井中学校
学校だより
令和4年10月6日
NO.16

あいさつ運動

毎月、地域の方が隔週であいさつ運動を行ってくださっているのだが、今回は自治会の方が「あいさつで 広がる人の輪 世界の平和の横断幕を掲げ、参加してくださいました。先生たち、生徒会執行部のみなさんも「生徒会として最後のあいさつ運動かあ」などと少し感慨深そうに話しながら、「おはようございまあっす」と元気に声をかけてくれました。



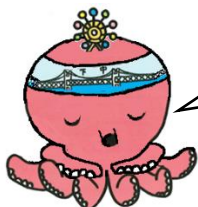
いつもよりもたくさん的人数に、登校してくる生徒のみなさんは校門の前になると、恥ずかしそうに少しスピードアップして通り過ぎていく。あいさつはすべてのコミュニケーションのはじめの一歩であることは間違いない。声をかけている人に対し、あいさつの交換ができる人は増えているけど、アイコンタクトまでできる人はごくわずかだったかな。あいさつできるって素敵なことだから、ためらわず自然に交わせるようになれるといいですね。



あいさつ運動していると、お年寄りの方の会話に驚きました。なんと、今の校舎になった時の第1期生だという方がおられたのです。下津井中学校の大先輩の話によると、引っ越し作業が大変だったとか…。

昔の下津井中学校の校舎は現下津井西小学校のところにあったから、そこから生徒が机を持って引っ越したそうです。さらにびっくりしたのが、生徒数の話。「わしらの頃は、1クラス55人あって、学年6クラスありましたよ。」さらに、別の方が「わしは3つ下じゃけど、確かに55人じゃった。」と、サラッと話しておられました。

みなさんも想像してほしい、今と同じ教室に55個の机が並んでいる様子を。7列×8列で56席になるから、だいたい今の1~3年全学年の生徒が一つの教室に座っていたことになりそうです。今のサイズの机では、通路はない、いや、教室に収まらないかもしれない。本当にすごい時代があったものだとあいさつ運動しながら聞き入ってしまいました。こんな、下津井中学校の歴史を地域の大先輩にインタビューする活動も面白いかもしれませんね。



前回の学校だよりが15号であったのに、とばして16号として配布しておりました。校長は小学生のころから「おっちょこちょい」と言われ続けているそうです。人間ってなかなか変わらないものなんですね。タコは柔軟ですが…。